

# SANWA REPORT

第84期 中間報告書

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日



三和ホールディングス株式会社

証券コード：5929

世界中に「安全、安心、快適」を広げていくことが、  
「動く建材」のグローバル・メジャーの姿。  
PDCAをより高度に、より迅速に回し、  
企業価値向上を実現していきます。



代表取締役会長 CEO 高山 俊隆

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。ここに、当社第84期（2018年4月1日～2019年3月31日）の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

## 当第2四半期連結累計期間の状況

当期間における国内経済は、建築市場は堅調であるものの、需給逼迫により物流費や外注人件費が引き続き上昇局面にありました。米国では、新築住宅関連、個人消費は底堅く、欧州では、ドイツ市場が弱含みであったものの、市場全体としては堅調に推移しました。また、米国の新たな通商政策を巡り各国との間で対立が予想されるなど、世界経済の先行きに不透明さが続く状況となりました。

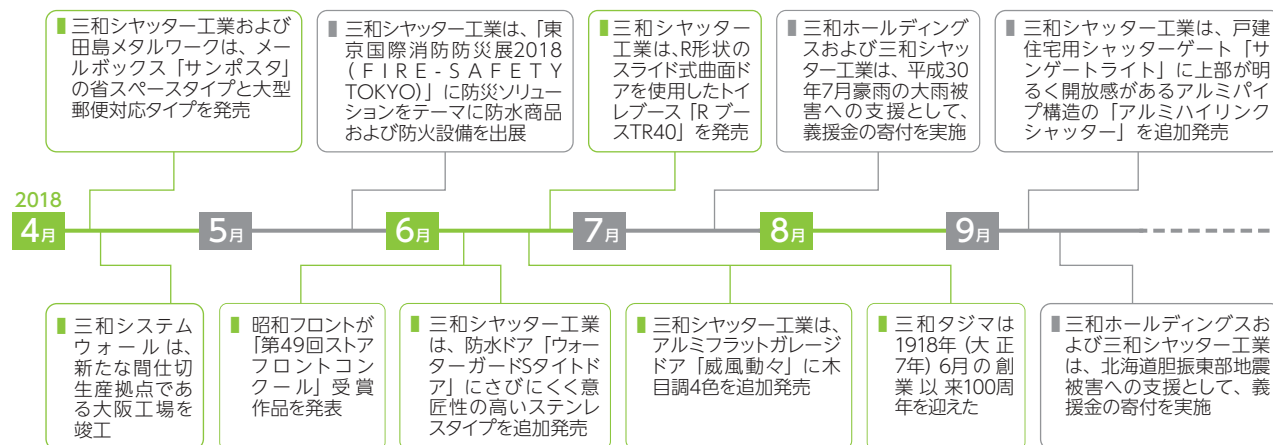
このような環境下、当社グループは、長期経営ビジョン「三和グローバルビジョン2020」第二次3カ年計画「グローバル・メジャーとしての競争力を強化する3カ年」の最終年度を迎え、国内においては、

既存事業の強化、連携による事業強化・拡大、防火設備の新しい検査・報告制度への対応に引き続き注力するとともに、新大阪工場を稼働させ、多品種化製品の供給力強化を図りました。米国では、中核事業のドア事業における代理店・販売店向けの支援強化や製品別チャンネル戦略を通じての基盤強化並びにシェア拡大に努めました。欧州では、本年1月にボルトン・ゲート・サービス社を買収し、英国でのサービス事業を強化するとともに、フランスのノルスード社とのシナジー効果創出や戦略製品であるドックレベラーの拡販に注力し、産業用ドア事業の更なる拡大に努めました。

以上の結果、国内については、三和シャッター工業、国内子会社ともに増収となりました。海外においても米国、欧州ともに現地通貨ベース・円ベースで増収となり、当社グループの第2四半期累計の連結売上高は、過去最高となりました。

利益面では、国内においては、数量が伸びなかったことやコストアップにより減益となりました。米国では、鋼材価格の上昇に伴う販売価格の引き上げや数量効果により増益となりました。欧州では、産業用ドアを中心とした数量効果が大きく、コストアップを吸収し、増益となりました。これらの結果、連結利益においては予想を上回り、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益ともに増益となり、2期連続で上期の最高益を更新しました。

## ●当社グループの第2四半期連結累計期間の主な出来事



## 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内では、雇用・所得環境の改善が続くなかで、住宅着工戸数は当面、横ばいで推移、非住宅床着工面積および設備投資については、増加傾向で推移していくと思われまます。米国では景気は回復が続いており、住宅着工戸数および設備投資は増加傾向、中古住宅販売戸数においては横ばい推移すると思われまます。欧州では、主力市場であるドイツは、景気は弱含みであり、住宅建物投資、非住宅建物投資ともに横ばい傾向であります。

このような状況のなかで、当社の通期の連結予想業績においては、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は期初予想を据置きまますが2期連続の過去最高の売上・利益を見込んでおります。

今後も、国内および欧米においてはこれまでの取組みを継続し、社会から信頼される企業を目指すとともに事業成長を果たし業績の信用を高めることで「二つの信用」を確立し、あわせて、より誠実な企業経営を目指しまます。

株主の皆様におかれまますは、当社の経営方針並びに諸施策をご理解いただき、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りまますようお願い申し上げます。

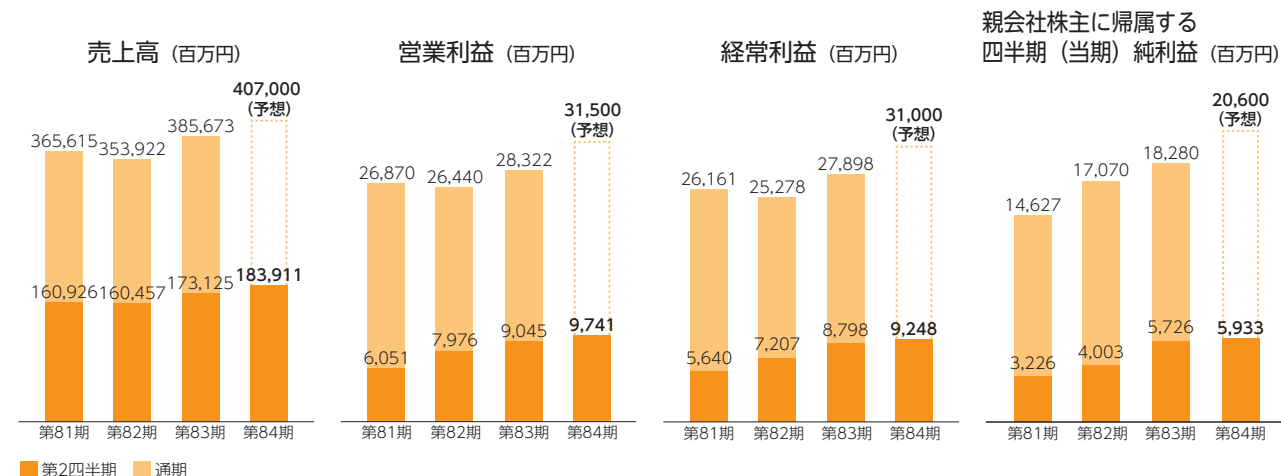
2018年12月

# 財務ハイライト（連結）

項目	第81期	第82期	第83期	第81期 (第2四半期)	第82期 (第2四半期)	第83期 (第2四半期)	第84期 (第2四半期)
	2016年3月31日	2017年3月31日	2018年3月31日	2015年9月30日	2016年9月30日	2017年9月30日	2018年9月30日
売上高 (百万円)	365,615	353,922	385,673	160,926	160,457	173,125	183,911
営業利益 (百万円)	26,870	26,440	28,322	6,051	7,976	9,045	9,741
経常利益 (百万円)	26,161	25,278	27,898	5,640	7,207	8,798	9,248
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益 (百万円)	14,627	17,070	18,280	3,226	4,003	5,726	5,933
1株当たり四半期（当期）純利益 (円)	63.06	74.61	80.97	13.80	17.50	25.29	26.37
総資産 (百万円)	310,269	323,393	331,686	317,181	283,005	316,395	330,990
純資産 (百万円)	130,334	139,905	151,121	127,899	121,312	138,720	150,795
1株当たり純資産 (円)	565.63	607.15	667.09	546.31	526.45	612.27	665.51
配当	13.00 (23.00)	13.00 (25.00)	15.00 (30.00)	10.00	12.00	15.00	16.00

(注) 1. 1株当たり四半期（当期）純利益は期中平均発行済株式の総数により、また、1株当たり純資産は期末発行済株式の総数により算出しております。  
 なお、発行済株式の総数については自己株式を除いております。

2. 配当の（ ）内は年間配当額を記載しております。



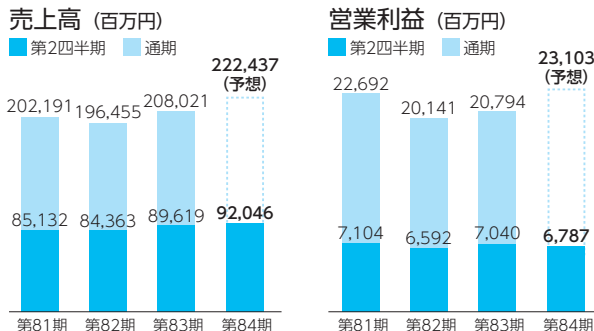
(注) 点線の通期連結業績予想値は、入手可能な情報に基づいて算出しておりますので、実際の業績等は、環境や業況の変化により予想値と異なる可能性があります。

# 地域別営業の状況（第2四半期連結累計期間）

日 本	売上高	92,046百万円
	営業利益	6,787百万円

国内では、重量シャッターの工場向けが大幅に増加したこと、点検法制化に伴う保守点検が順調でメンテサービ事業も増収となり、売上高は前年同四半期比2.7%増の92,046百万円となりました。

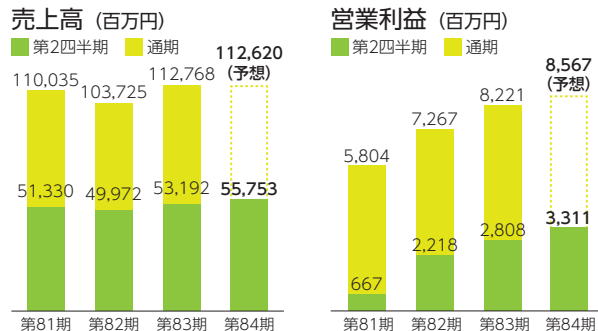
利益に関しましては、自然災害多発の影響で数量効果が計画以下となったことにより前年同四半期比3.5%減の6,787百万円のセグメント利益となりました。



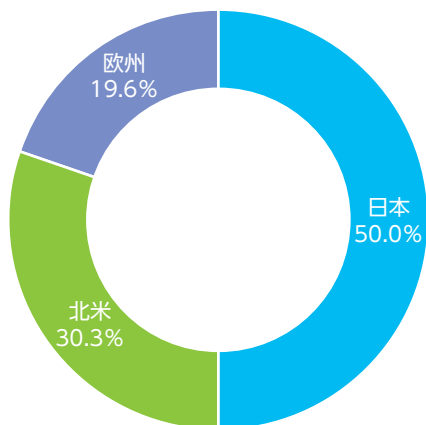
北 米	売上高	55,753百万円
	営業利益	3,311百万円

米国では、ドアは、ガレージ用・商業用共に好調を維持、開閉機は、プロチャネル向けが引き続き好調で、ホームセンター向けも大幅に回復したことにより売上高は前年同四半期比4.8%増の55,753百万円となりました。

利益に関しましては、原材料価格の上昇を販売価格の値上げで吸収したことや、数量効果が大きく、前年同四半期比17.9%増の3,311百万円のセグメント利益となりました。



## ●地域別売上高構成比



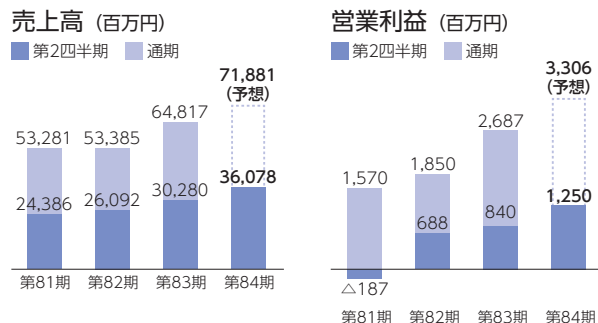
(注) 1. 地域別セグメントに属さない数値は除いているため、各地域の売上高、営業利益の合計値は、連結売上高、連結営業利益とは一致しません。

2. 点線の通期連結業績予想値は、入手可能な情報に基づいて算出しておりますので、実際の業績等は、環境や業況の変化により予想値と異なる可能性があります。

欧 州	売上高	36,078百万円
	営業利益	1,250百万円

欧州では、ガレージドアはオランダ・フランスが好調を維持、産業用ドアは、ドックレベラーが好調で、BGS社買収効果もあり売上高は前年同四半期比19.1%増の36,078百万円となりました。

利益に関しましては、原材料価格の上昇、コストアップを販売価格の値上げ、数量効果で吸収したことにより前年同四半期比48.8%増の1,250百万円のセグメント利益となりました。



# 四半期連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)

科目	前期末 (2018年3月31日)	当第2四半期末 (2018年9月30日)	科目	前期末 (2018年3月31日)	当第2四半期末 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	195,331	<b>194,646</b>	流動負債	113,098	<b>111,743</b>
現金及び預金	29,208	<b>34,214</b>	支払手形及び買掛金	50,300	<b>47,709</b>
受取手形及び売掛金	87,672	<b>78,254</b>	1年内償還予定の社債	550	<b>550</b>
有価証券	21,199	<b>16,199</b>	短期借入金	5,847	<b>7,973</b>
棚卸資産	53,422	<b>60,300</b>	1年内返済予定の長期借入金	10,266	<b>9,403</b>
その他	5,211	<b>7,021</b>	その他	46,134	<b>46,107</b>
貸倒引当金	△ 1,383	△ <b>1,344</b>	固定負債	67,465	<b>68,451</b>
固定資産	136,354	<b>136,344</b>	社債	31,500	<b>31,500</b>
(有形固定資産)	( 57,765 )	( <b>58,836</b> )	長期借入金	17,782	<b>19,431</b>
建物	18,649	<b>19,848</b>	退職給付に係る負債	13,289	<b>12,854</b>
土地	18,591	<b>18,454</b>	その他	4,893	<b>4,665</b>
その他	20,524	<b>20,533</b>	負債合計	180,564	<b>180,194</b>
(無形固定資産)	( 24,475 )	( <b>24,928</b> )	純資産の部		
のれん	7,401	<b>7,529</b>	株主資本	136,731	<b>139,707</b>
その他	17,073	<b>17,399</b>	資本金	38,413	<b>38,413</b>
(投資その他の資産)	( 54,114 )	( <b>52,578</b> )	資本剰余金	39,902	<b>39,902</b>
投資有価証券	41,905	<b>40,075</b>	利益剰余金	67,403	<b>70,379</b>
退職給付に係る資産	6,139	<b>6,320</b>	自己株式	△ 8,988	△ <b>8,989</b>
その他	6,379	<b>6,476</b>	その他の包括利益累計額	13,350	<b>10,019</b>
貸倒引当金	△ 311	△ <b>293</b>	その他有価証券評価差額金	3,583	<b>3,126</b>
資産合計	331,686	<b>330,990</b>	繰延ヘッジ損益	△ 134	△ <b>112</b>
			為替換算調整勘定	11,558	<b>8,371</b>
			退職給付に係る調整累計額	△ 1,656	△ <b>1,365</b>
			新株予約権	213	<b>231</b>
			非支配株主持分	825	<b>838</b>
			純資産合計	151,121	<b>150,795</b>
			負債純資産合計	331,686	<b>330,990</b>

\*当第2四半期末の有形固定資産の減価償却累計額 92,372百万円

\*「[「税効果会計に係る会計基準」の一部改正]」等を適用しているため、前期末を組替えて表示しております。

## 四半期連結損益計算書の概要

(単位：百万円)

科目	前第2四半期累計 (2017年4月1日～ 2017年9月30日)	当第2四半期累計 (2018年4月1日～ 2018年9月30日)
売上高	173,125	<b>183,911</b>
売上原価	122,556	<b>129,986</b>
売上総利益	50,568	<b>53,925</b>
販売費及び一般管理費	41,523	<b>44,183</b>
営業利益	9,045	<b>9,741</b>
営業外収益	466	<b>549</b>
営業外費用	713	<b>1,042</b>
経常利益	8,798	<b>9,248</b>
特別利益	337	<b>45</b>
特別損失	199	<b>196</b>
税金等調整前四半期純利益	8,936	<b>9,097</b>
法人税等	3,158	<b>3,106</b>
四半期純利益	5,778	<b>5,991</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	52	<b>57</b>
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,726	<b>5,933</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)

科目	前第2四半期累計 (2017年4月1日～ 2017年9月30日)	当第2四半期累計 (2018年4月1日～ 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,202	<b>8,433</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,098	△ <b>7,306</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,534	△ <b>8</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 53	△ <b>230</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 4,484	<b>888</b>
現金及び現金同等物の期首残高	56,290	<b>49,263</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,805	<b>50,151</b>





## 三和シャッター工業株式会社

### TOPICS 1



### ～工事不要で簡単取付け～

脱着式簡易アルミ防水板「ミリオンガード」を発売

三和シャッター工業は、脱着式簡易アルミ防水板「ミリオンガード」を10月より発売しました。お客様の多様なニーズにお応えできるように、浸水高さ490mmまで対応できる防水板を新たにラインアップしました。

簡単な取付け方法、取付けたままで自動ドアの開閉が可能、事前の工事が不要です。

グループのシナジーを活かし、グループ会社の昭和建産で製造し、三和シャッター工業にて販売します。



### ～マシュクール工場にて 記念式典を開催～

Novoferm Franceが  
創業60周年を迎えました

Novoferm Franceは、1958年に創業し  
60周年を迎えました。

7月にはフランス北西部にあるマシュクール工場にて  
記念式典が開催されました。

式典後には従業員の家族を招いて、ミニトレインに  
乗って場内を巡る工場見学が行われました。



### TOPICS 2



## 会社の概要

- 商号 三和ホールディングス株式会社
- 創立 1956年4月10日
- 資本金 38,413百万円
- 従業員数 (連結) 10,063名  
(注) 従業員数は就業人員数を記載しております。
- 本社所在地 〒163-0478  
東京都新宿区西新宿二丁目1番1号  
(新宿三井ビル52階)  
TEL (03)3346-3019 (代表)
- 主なグループ会社 三和シャッター工業株式会社  
昭和フロント株式会社  
沖縄三和シャッター株式会社  
三和タジマ株式会社  
三和エクステリア新潟工場株式会社  
ベニックス株式会社  
三和システムウォール株式会社  
Sanwa USA Inc. (アメリカ)  
Overhead Door Corporation (アメリカ)  
Creative Door Services Ltd. (カナダ)  
Novoferm Europe Ltd. (イギリス)  
Novoferm Germany GmbH (ドイツ)  
Novoferm GmbH (ドイツ)  
Novoferm France S.A.S. (フランス)  
Novoferm Nederland B.V. (オランダ)  
Alpha Deuren International B.V. (オランダ)  
Novoferm Schievano S.r.l. (イタリア)
- ホームページアドレス <http://www.sanwa-hldgs.co.jp/>  
ホームページで最新のトピックス、IR情報などを紹介、各グループ会社のホームページにもリンクしております。

- 役員
  - 代表取締役会長 ○ 高山 俊隆
  - 代表取締役社長 ○ 高山 靖司
  - 取締役専務執行役員 藤沢 裕厚 グローバル事業部門担当
  - 取締役常務執行役員 福田 真博 経営企画部門担当
  - 取締役 高山 盟司
  - 取締役 安田 信
  - 監査等委員である取締役(常勤) 在間 貞行
  - 監査等委員である取締役(常勤) 米澤 常克
  - 監査等委員である取締役 五木田 彬

- (注) 1. 安田信氏、米澤常克氏および五木田彬氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 当社は株式会社東京証券取引所に対して、安田信氏、米澤常克氏および五木田彬氏を独立役員とする独立役員届出書を提出しております。

## 株式の状況

- 発行可能株式総数 550,000,000株
- 発行済株式の総数 235,000,000株
- 株主数 9,624名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,299	9.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,954	6.64
株式会社三井住友銀行	11,244	4.99
第一生命保険株式会社	8,100	3.60
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	6,809	3.02
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	6,420	2.85
日新製鋼株式会社	4,968	2.20
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,637	2.06
BBH FOR MATTHEWS JAPAN FUND	4,320	1.92
JP MORGAN CHASE BANK 385632	4,278	1.90

- (注) 1. 当社は自己株式10,020,599株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主確定日
  - 定時株主総会議決権行使株主 3月31日
  - 期末配当金受領株主 3月31日
  - 中間配当金受領株主 9月30日
  - その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関
- 同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所(証券コード5929)
- 公告方法 電子公告により行う  
公告掲載URL <http://www.sanwa-hldgs.co.jp/>  
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告が行えない場合は、日本経済新聞に公告いたします。

- (注) 中間報告書の記載金額、数値、持株数および比率は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。